

Builder:
大八木建設

Note:
大町市/T邸
家族構成/1人

先祖代々の思い出を 今につなぐ家



A_デザイン性だけでなく、確かな性能も備えたT邸。ジョリパットで仕上げられた外壁の下地にはサイディングを使い、耐震性を確保した。深い軒には、建物が傷みにくいという利点も。 **B**_縁側に腰掛けて、のんびりと庭を眺める。長く失われていた穏やかな時間が、この家に蘇った。 **C**_暇さえあれば、花の手入れに勤しむTさん。庭の花を摘んで、部屋を彩る。そんな花のある暮らしを楽しんでいる。



放置していた母屋の
建て替え計画がスタート。
平屋を終の棲家に

明治生まれの祖父が作庭したという、池のある日本庭園。そして、目の前には代々受け継ぐ菜園。辺りを見渡すと、古くからの田畑が悠々と連なります。そんな自然豊かな環境に馴染むようにつくられたのがT邸。大きくせり出した軒と、意匠性に富んだ外壁が、和風建築ならではの凛とした佇まいを際立たせます。

この場所には、かつてTさんがご主人や三人のお子さん、親御さんと暮らした家がありました。明治から続く歴史ある家です。その後、向かい合わせに新居を建て、Tさんご一家は移り住むことに。数年前からは、娘さんご夫婦やお孫さんと同居していましたが、気がかりだったのは空き家となったかつての住まい。「いつかは取り壊さないと……」と、長年気を探っていました。建て替え計画が急浮上したのは、敷地内にある土蔵の改修工事を大八木建設に依頼したことがきっかけ。「重い腰を上げるのは、このタイミングだと。母屋を建て替えてもらって、私が住もうと決心しました」

老後の一人暮らしは、階段がない平屋の一択。LDKを中心に、家の中を回遊できるコンパクトな間取りを採用しました。室内を通り抜ける心地よい風と、窓に映る庭や畑の風景。Tさんにとっては馴染み深い縁側だってあります。「閉じた箱の中で暮らすよりも、外をいつも感じたい」。そんなTさんの願いが、かたちになりました。

家が新しくなっても この場所に残る思いは ずっと大切にしたい

玄関を入って東側には、キッチンまで続く通り土間。美容師の仕事のかたわら、畑仕事や庭木の剪定、三人のお孫さんのお世話と、毎日多忙なTさんのため、設計担当の栗林さんが工夫を凝らしました。「収穫して土がついた野菜を、土足のままキッチンまで運べるんです。漬物樽も気にせず置けるし、かさばる厚手のコートも収納できて。いちいち家にながらなくて済むのが、本当に楽なんです」

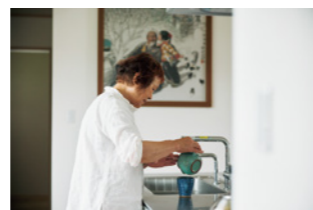
リビング続きの和室は、Tさんが切望した仏間にしました。「向かいの家は、娘夫婦のものですからね。この家にご先祖様や主人の仏壇を置いて、T家の歴史を残していきたいんです。古い仏壇でね。お線香で黒光りしていたのが、クリーニングで見違えるようですよ」と、ご満悦のTさん。綺麗になった仏壇に手を合わせ、日々の出来事を語る姿が、目に浮かぶようです。

建て替え前の母屋で、長年眠っていた物も再利用。仏間の建具には、彫刻を施した書院障子

が使われています。一方玄関アプローチに使われたのは、基礎の石。こんなところにも、昔の家の面影を見ることが出来ます。家の外に目を向けても、そこかしこに思い出は宿っています。季節の花で美しく彩る。そんなTさんらしいやり方で、先祖代々受け継いだものを、大切に守り残していきます。



E



D 建て替え前の母屋に残されていた書院障子に新たな命を吹き込んで、仏間を彩るインテリアに。T家が積み重ねてきた膨大な時間を物語るかのような、格調高い意匠に目を奪われる。 **E** キッチンには余裕のある広さに、「座って料理の下ごしらえができるように、椅子を置けるスペースを取ってもらいました。将来、車いすになっても大丈夫(笑)」 **F** 暮らしやすさに配慮し、リビングは家の真ん中に。ここを拠点に、寝室や1カ所にまとまった水周りへも、スムーズにアクセスできる。



F



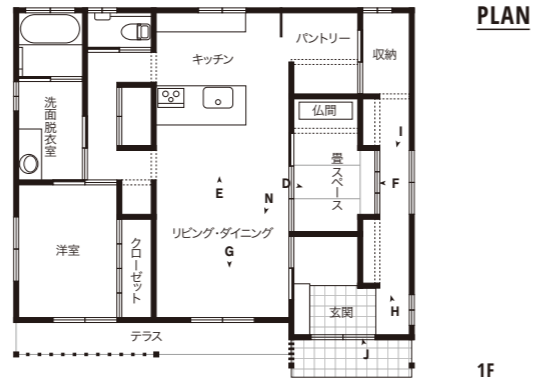
D



K 向かいの家から眺めるT邸。「一人暮らしとはいえ、娘たちと一緒に晩ごはんを食べて、お風呂まで入ってきちゃいます。同じ敷地で暮らしているから、なにかと安心です」 **L** 緑側の入り口に据えた踏み石にも、昔の家の基礎が使われている。



G



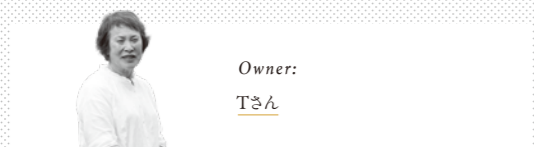
PLAN

1F

DATA

敷地面積 — 397.00㎡ (119.85坪)
 延床面積 — 87.15㎡ (26.31坪)
 デッキ面積 — 9.03㎡ (2.73坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:スギ、梁:米マツ、土台:ヒノキ 断熱材/屋根:高性能グラスウール200mm、壁:高性能グラスウール100mm、基礎:スタイロフォーム90mm 主な外装仕上げ/屋根:和瓦、外壁:サイディング+吹き付け(ジョリパット) 主な内装仕上げ/天井・壁:ビニールクロス、床:複合フローリング 開口部/アルミ樹脂複合サッシ Low-Eペアガラス キッチン/TOTO ザ・クラッソ キッチン熱源/ガス バスルーム/TOTO シンラ 暖房の種類/FF暖房機・エアコン UA値/0.56



Owner:
Tさん

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A ご先祖様の仏壇を置ける家にする。新築しても、T家の歴史や思い出は大切にしたいと思いました。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A 何度も住宅展示場に足を運び、情報収集。土間や壁の中に収める収納など、色々なアイデアを得ることができました。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A 大八木建設さんとは、向かいの家を建ててもらった頃からの付き合い。気兼ねなく要望を伝えられました。



Builder:
営業担当/栗林秀明さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A 緑豊かな地域環境を考慮した、落ち着いた和風建築。動線を重視し、回遊性のある間取りを採用しました。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 使い勝手のよい平屋、キッチンにアクセスできる玄関脇の通り土間、断熱性とコストのバランスを考慮した仕様設定。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

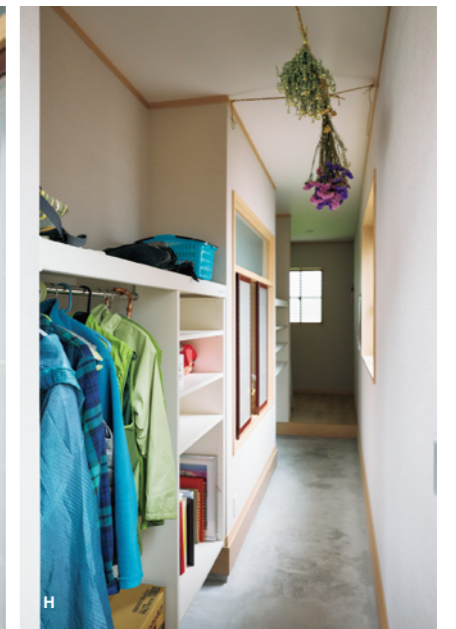
A 当社の手掛ける家はすべて自由設計です。お施主様が納得できるまで時間を掛けてとことんプランニングします。



J



I



H

G 見慣れた畑の風景を室内に取り込んだリビング。庭先の縁側を介して、内と外がつながる。「いつも窓を開け放している」というTさんのこだわりは、風通しのよさ。南向きの窓の反対側にも窓を配し、季節の風を感じられる住まいに。 **H・I・J** 玄関脇からキッチンまで続く土間には、アウター類や生活雑貨を収納できるスペースがたっぷり。Tさんが住宅展示場で得たアイデアを、栗林さんの確かな設計力でかたちにした。